

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語 I 文法
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科（機械コース）		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	アトラス総合英語 ATLAS English Grammar Compass in 23 Lessons（桐原書店）, ATLAS English Grammar Compass Workbook（桐原書店）, 音読英単語 入門編（Z会）					
担当教員	田邊 英一郎,長谷川 佐知子,菅野 智城					
到達目標						
高専での今後の英語学習だけでなく、社会に出た後の英語運用能力の基礎となる初級レベルの語彙と文法を習得する。語彙も文法も、中学校既習項目の復習から始め、高校 1 年生修了程度の水準まで学習を進める。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1		高校 1 年生修了程度の基礎語彙と文法項目が理解でき、定着している。		高校 1 年生修了程度の基礎語彙と文法項目が概ね理解できている。		高校 1 年生修了程度の基礎語彙と文法項目がほとんど理解できていない。
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	指定教材等を様々な方法で活用しながら、中学校既習項目から高校 1 年生修了程度までの語彙と文法の定着を図る。					
授業の進め方・方法	授業前の事前学習が必要である。語彙力を向上させるための小テストを授業内に実施するので、指定範囲を復習してやること。授業中は予習で分からなかった箇所や間違えた箇所を理解できるようにする。定着度を測るため、定期試験の他に英語外部試験を実施する。					
注意点	1 年生の英語 I は、今後の高専での英語学習の基礎となる非常に重要な科目なので、「英語は苦手だからやらない」と敬遠せず、習った内容が身につくよう最大限努力すること。辞書は毎回必ず持参すること。					
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	はじめに：品詞・英語の語順ルール		品詞、文の要素、文の構造が理解でき、定着している。	
		2週	1 章：文の種類		文の種類（肯定文・否定文・疑問文・命令文・感嘆文）が理解でき、定着している。	
		3週	2 章：現在形・現在進行形		現在形・現在進行形の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		4週	2 章：過去形・過去進行形		過去形・過去進行形の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		5週	3 章：未来を表す形		未来表現の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		6週	4 章：完了形（1）		現在完了形の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		7週	5 章：完了形（2）		過去完了の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		8週	6 章：助動詞（1）		助動詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
	2ndQ	9週	7 章：助動詞（2） / Plus		様々な助動詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		10週	8 章：態（1）		受動態の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		11週	9 章：態（2） / Plus		複雑な受動態の意味と用法が理解でき、定着している。	
		12週	1 0 章：不定詞（1）		不定詞の意味と用法が区別でき、定着している。	
		13週	1 1 章：不定詞（2）		不定詞の意味と用法が区別でき、定着している。	
		14週	1 2 章：不定詞（3） / Plus		不定詞の意味と用法が区別でき、定着している。	
		15週	1 3 章：動名詞 / Plus		動名詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	1 4 章：分詞（1）		分詞による修飾の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		2週	1 5 章：分詞（2）		V+O+分詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		3週	1 6 章：分詞（3） / Plus		分詞構文の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		4週	1 7 章：関係詞（1）		関係代名詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		5週	1 8 章：関係詞（2）		関係詞表現の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		6週	1 9 章：関係詞（3） / Plus		関係副詞の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	
		7週	2 0 章：比較（1）		比較表現の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。	

4thQ	8週	2 1 章：比較（2） / Plus	様々な比較表現の意味と用法が理解でき、定着している。
	9週	2 2 章：仮定法（1）	仮定法の基本的な意味と用法が理解でき、定着している。
	10週	2 3 章：仮定法（2） / Plus	様々な仮定法表現の意味と用法が理解でき、定着している。
	11週	Option ① 名詞・冠詞 Option ② 代名詞	品詞（名詞・代名詞・冠詞）の意味と用法が理解でき、定着している。
	12週	Option ③ 形容詞・副詞 Option ④ 接続詞	品詞（形容詞・副詞・接続詞）の意味と用法が理解でき、定着している。
	13週	Option ⑤ 前置詞 Option ⑥ 疑問詞と疑問文	品詞（前置詞）、疑問詞と疑問文の意味と用法が理解でき、定着している。
	14週	Option ⑦ 否定 Option ⑧ 様々な構文	否定表現、様々な構文の意味と用法が理解でき、定着している。
	15週	Option ⑨ 時制の一致と話法 Option ⑩ 動詞と文型	時制の一致と話法、動詞と文型の意味と用法が理解でき、定着している。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	

評価割合

	試験	学習状況	小テスト	課題・提出物	合計
総合評価割合	70	10	10	10	100
基礎的能力	70	10	10	10	100